

# 馬産地ライター村本浩平の 2026 スタリオンシリーズ競走種牡馬名鑑



Vol. 1 | 4.23[木] ▶ 6.4[木] 開催分

## 4.23 [木] デクラレーションオブウォー賞 【エトワール賞(H3)】

デクラレーションオブウォー(牡17歳)は、2019年シーズンから日本軽種馬協会静岡種馬場で供用されています。現役時はGIインターナショナルS(芝10.3F)、GIクイーンアンS(芝8.0F)を含めて、13戦7勝の成績を残しています。2025年の中央サイアーランキングでは21位となっており、その年にはシランケドがGⅢ中山牝馬SとGⅢ新潟記念を優勝。セキトバイスト(GⅢ府中牝馬S)、トップナイフ(GⅡ札幌記念)も重賞を勝利するなど、産駒は芝中距離での活躍が目立っています。世代を重ねていく中で、ダートにおける勝ち馬も増えてきました。

## 4.30 [木] タスティエーラ賞 【北斗盃(H3)】

新種牡馬

タスティエーラ(牡6歳)は、2026年シーズンから優駿スタリオンステーションで供用されています。現役時はGI日本ダービー(芝2400m)、GI香港クイーンエリザベス二世C(芝2000m)を含めて、15戦4勝の成績を残しています。ダービー馬となった能力の高さもさることながら、距離の異なるGI皐月賞と、GI菊花賞でも2着と距離適性の広さも証明していきます。父となるサトノクラウンもGI宝塚記念を含めて、芝の中距離重賞で6勝をあげており、産駒もまた、父や祖父譲りと言える芝適性の高さと、息の長い活躍を見せてくれそうです。

## 5.6 [水・振休] ベンバトル賞 【コスモバルク記念(H2)】

ベンバトル(牡12歳)は、2022年シーズンからビッグレッドファームで供用されています。現役時はGIドバイターフ(芝1800m)、GIラドブロークスS(芝2000m)、GIダルマイヤー大賞(芝2000m)を含めて、25戦11勝の成績を残しています。3歳から7歳にかけて重賞を勝利しており、世界的な名種牡馬であるDubawi産駒の中でも、最高額となる取得賞金(約780万米ドル)を得ました。2025年の中央フレッシュサイアーランキングでは3位、勝利回数(11勝)では2位となっているように、産駒は芝中距離で安定した活躍を見せています。

## 5.14 [木] ファインニードル賞 【フロイラインスプリント(H3)】

ファインニードル(牡13歳)は、2019年シーズンからダーレー・ジャパン スタリオンコンプレックスで供用されています。現役時はGI高松宮記念(芝1200m)、GIスプリンターズS(芝1200m)を含めて、28戦10勝の成績を残しています。史上5頭目となる春秋スプリントGI勝利を果たしたスピード能力は産駒へと遺伝されており、2025年にはエイシンフェンサーがGⅢシルクロードSを優勝。同年にはアブキールベイ(GⅢ葵S)、エイシンディード(GⅢ函館2歳S)も重賞を制しています。産駒は古馬となってから本格化を迎える傾向にあります。

## 5.28 [木] ソットサス賞 【ヒダカソウカップ(H3)】

ソットサス(牡10歳)は、2025年シーズンから日本軽種馬協会静岡種馬場で供用されています。現役時はGI凱旋門賞(芝2400m)、GI仏ダービー(芝2100m)、GIガネー賞(芝2100m)を含めて、12戦6勝の成績を残しています。同スタリオンにおける凱旋門賞馬のスタッドインは、バゴ以来19年ぶりとなりました。全弟シンエンペラーはGⅢ京都2歳Sを優勝。持ち込み馬となるセナススタイルもGⅡローズSで3着となるなど、血統面でも日本における芝適性の高さを示しています。産駒には芝のクラシックは勿論、凱旋門賞制覇の夢も託したくなります。

## 6.4 [木] インディチャンプ賞 【グランシャリオ門別スプリント(H3)】

インディチャンプ(牡11歳)は、2022年シーズンから優駿スタリオンステーションで供用されています。現役時はGI安田記念(芝1600m)、GIマイルCS(芝1600m)を含めて、23戦8勝の成績を残しています。スピード色の強い母系の影響を受けて、現役時はステイゴールド産駒としては異色の芝のマイラーとして活躍を見せていきます。2025年の中央フレッシュサイアーランキングでは4位となっただけでなく、2026年のGⅡチューリップ賞をタイセイボークが優勝。父譲りのマイル適性の高さに加えて、仕上がりの早さも証明し続けています。

今シーズンは  
特別競走4レースも  
「スタリオンシリーズ競走」  
として開催!

- 門別3回ステラヴェローチェ賞
- 門別6回アメリカンペイトリオット賞
- 門別11回ジオグリフ賞 新種牡馬
- 門別14回マスター賞

「スタリオンシリーズ競走」は、一般社団法人JBC協会(ジャンプブリーダーズカップ協会)が産地の支援を得て、優勝馬の馬主や生産牧場に種牡馬の翌年種付権利を副賞として贈呈する競走です。  
※生産牧場が海外の場合は付与対象外となります。

